

事業番号	0	8	7
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	講座開催事業					担当部	教育委員会事務局				
事業期間	平成4年度 ~ 令和2年度以降					担当課	北里市民センター				
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	16	展開方向	1							
予算区分	一般会計	款	10 教育費	項	05	目	02	大	06	中	03

2. 実施状況

【平成30年度の実施状況】

市民企画講座は、学びたい市民と学んだことを活かしたい市民が学びを通してつながることを目的に実施した。また、ゆうゆう・つつじ合同学級は、市民の教養を高め健康問題や現代社会に対応できる知識の習得、仲間づくりを目指すことを目的に実施し、学習環境の充実と学習機会の拡充を図った。

料理、健康、各種趣味等をテーマとした「市民企画講座」を開催

学級数及び開催日数：前期3講座、後期3講座 1講座につき3~6回

前期：大正琴入門、PPバンドのかごバッグとクラフトバンドのかご作り、パステルアート講座

後期：筋力アップのためのたんぱく質の摂取とカロリーダウンの料理、健康になる！はじめてのバランスボールエクササイズ、声と心と身体で歌うハーティコーラス講座

女性と高齢者を受講者とする「北里ゆうゆう・つつじ合同学級」を開催

・学級数と開催日数：1学級、延20回開催

※開催場所：北里市民センター

※運営・企画（テーマ調査等）は市職員で対応、講師は外部から招く（合同学級）

仕事や趣味などで培った知識や技能などを活かして市民が講座を企画・運営し、公募制により手を挙げられた市民から講師を選定（市民企画講座）

※受講料は、市民講座1講座5~8回開催で受講料は1回当たり150円、合同学級は年間3,000円

その他の講座

短期講座やサークルとの協働講座を開催

短期講座（安くリッチに暮らす方法、男の料理 鍋奉行～寄せ鍋を囲んでワイワイッと！）計2回

協働講座（シナプソロジーで脳も体もイキイキ！、伊勢型紙でしおりを作ろう）計2回

3センター合同講座（保護者のためのネットモラル塾）計1回

※開催場所：北里市民センター

※講師は外部から招いて、運営は市職員が行った。

※短期・協働・合同講座の受講料は、無料。

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	205	0	33	80
			国・県支出金	千円	0	0	0	0
			その他	千円	241	247	279	252
		計(A)	千円	446	247	312	332	
	対前年比	%	-	55.4%	126.3%	106.4%		
	(当初)予算額	千円	1,001	649	529	525	529	
人件費	正職員	人	0.2	0.2	0.2	0.2		
	正職員(平均人件費)	千円	1,497	1,497	1,497	1,497		
	その他職員	人	1	1	1	1		
	その他職員(時給×年間時間)	千円	1,226	1,254	1,286	1,491		
	計(B)	千円	2,723	2,751	2,783	2,988		
事業費合計(C=A+B)		千円	3,169	2,998	3,095	3,320		
指標	成果指標	市民企画講座受講者数	目標	120	120	120	120	-
			実績	165	111	119	80	
	活動指標	開催回数	目標	40	30	30	33	-
			実績	33	26	33	33	
			目標					
			実績					
	@事業費	受益者数(a)	人	196	155	169	202	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	16,170	19,344	18,315	16,437	

	改善点は見られない	改善点が若干見られる	○	大いに改善すべき
診断結果	<p>講座参加者アンケートを参考に市民が興味、関心のある講座を実施したことで平成29年度と同様、前・後期あわせて市民企画講座6講座を開講することができ目標に達することができた。なお、講座終了後、6講座のうち3講座が市民講座を終了した受講生による自主サークルとして立ち上がっているため、サークルが継続できるよう支援する。また、平成30年度は新たに日曜日の午前中に気軽に受講していただけるよう、興味を引く身近な内容の短期講座とセンターで活動しているグループと企画した協働講座を開催し、グループには学びを活かす機会、市民には学べる機会を提供し、学習の機会を提供することができたが、北里地区は他の地区に比べ三世帯世帯、高齢者が多く、人口の少ない地域であるため、地域の特性を捉えた講座の開催や幅広い年代が受講できる内容や環境の整備が今後必要になると思われる。</p>			
	<p>市民企画講座は市民が企画した講座をこまなびサロンへ登録し、その中から公民館をはじめ4施設で選ぶようになっている。毎回、同じ講師による同じ企画が登録されており、マンネリ化しているため、市民にとって目新しさに欠けると思われる。新規講師による開拓が必要であるが講師料が基準より安いいため、登録される方が増えない。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性 削減額・対象	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>社会教育法・公民館としての意義を守り、生涯学習の拠点としての役割を発展させやがては住民の自主的な活動を育成し支援していくため、今後も事業を継続していく必要がある。 市民企画講座とは別に単独で親子等が参加できる短期講座や活動サークルとの協働講座などを検討していく。</p>				